

## 海遊館初公開！期間限定！

# イワトビペンギンの赤ちゃんが生まれました！

## 人工飼育の様子を間近でご覧いただけます

大阪市港区の海遊館では、平成 20 年 6 月 6 日（金）に、バックヤードでイワトビペンギンの赤ちゃんが 2 羽生まれました。この赤ちゃんたちは同じ親が産んだ卵から生まれた兄弟です。親鳥に積極的な育児行動が見られなかったため、誕生直後から親鳥に代わって飼育係員が人工飼育を行っています。赤ちゃんの健康状態が良好でスクスクと育てているため、6 月 20 日（金）から 7 月末頃までの約 1 ヶ月間、館内 7 階の特設水槽内で特別公開します。海遊館でイワトビペンギンの人工飼育の様子を公開するのは初めてです。

この赤ちゃんたちは、海遊館のバックヤードで飼育中の、同じイワトビペンギンが 4 月 28 日と 5 月 2 日にそれぞれ 1 個ずつ生んだ卵から生まれた兄弟です。通常イワトビペンギンは、小石や雑草で巣をつくり、一回の産卵で卵を 2 個産み、オスとメスが交代で巣の上に腹ばいになって卵を温めます。1 つ目の卵は 6 月 5 日（木）に嘴打ち<sup>はしうち</sup>を確認、産卵から 39 日目の翌 6 日（金）5 時 30 分に無事赤ちゃんが誕生しました。もう 1 つの卵も産卵から 35 日目の 6 月 6 日（金）に嘴打ちを確認し、同日 23 時 20 分に赤ちゃんが無事誕生しました。



今回誕生したイワトビペンギンの兄弟

海遊館では過去にも赤ちゃんが誕生したことがありますが、イワトビペンギンの繁殖は大変難しいことから、今回の産卵・孵化にあたっては、親鳥の負担を軽減し安全に子育てをさせるため、誕生した赤ちゃんのうち 1 羽を人工飼育することにしました。ところが、もう 1 羽の赤ちゃんについても、親鳥に積極的な育児行動が見られなかったため、急遽 2 羽とも人工飼育することにしました。

一般的にイワトビペンギンの赤ちゃんは、孵化時の全長は約 10 cm、体重は約 70g で、全身に綿羽<sup>めんじゅう</sup>と呼ばれる白黒のモコモコの羽が生えています。イワトビペンギンの特徴である黄色い冠羽<sup>かんじゅう</sup>はまだ生えていません。生後約 2 ヶ月頃で綿羽が抜け落ちて親と同じ模様になり、自分で餌を食べ始めます。

現在、2羽の赤ちゃんは順調に育っており、温度や湿度が調整できる保育器に赤ちゃんを入れ、魚のすり身の餌を与えるなどの人工飼育を行っています。赤ちゃんは順調にすくすくと成長していることから、来館者に間近で可愛らしい姿をご覧いただくことにしました。

- 1 嘴打ち<sup>はしう</sup>：ヒナが卵の内側から卵の殻に穴をあけること



イワトビペンギンの赤ちゃん人工飼育の様子

### 1.【今回の繁殖について】

- |      |                            |
|------|----------------------------|
| 産卵日  | 1卵目：平成20年4月28日(月)          |
|      | 2卵目：平成20年5月2日(金)           |
|      | 卵の長径約72mm、短径約52mm、重量約110g  |
| 嘴打ち日 | 1卵目：6月5日(木)                |
|      | 2卵目：6月6日(金)                |
| 孵化日  | 1卵目：6月6日(金)5時30分(産卵後39日目)  |
|      | 2卵目：6月6日(金)23時20分(産卵後35日目) |

### 2.【特別公開、人工飼育の様子】

- |         |                                                                                                     |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 公開場所    | 海遊館内7階「南極大陸」水槽前 特設水槽                                                                                |
| 公開期間    | 平成20年6月20日(金)から7月末頃までの約1ヵ月間<br>生き物の状況により展示期間の変更または中止する場合があります。<br>ヒナを安全に飼育するため、ストロボ撮影はお断りさせていただきます。 |
| 現在の大きさ  | 全長約15cm、体重約300g(6月17日現在)                                                                            |
| 赤ちゃんの近況 | 現在、温度や湿度が調整できる保育器に赤ちゃんを入れ、魚のすり身の餌を与えるなどの人工飼育を行っています。赤ちゃんは、1日4回の餌もよく食べ、飼育係員が近づくと元気に鳴き声を上げています。       |

### 3.【イワトビペンギンについて】

イワトビペンギン 英名：Rockhopper penguin 学名：*Eudyptes chrysocome*

ペンギン科。成長すると体長約50cmになる。岩場をピョンピョンと飛び跳ねながら移動することからこの名前が付いた。目の上にある黄色い冠羽が特徴。沿岸の岩場の小石や雑草で巣を作り、メスは1回の産卵で2個の卵を産む。ペンギンの中では気性がやや激しい。小魚やオキアミなどを食べる。

イワトビペンギンの成鳥は現在バックヤードで飼育しているため、展示しておりません。

#### 4.【海遊館で飼育しているその他のペンギンについて】

オウサマペンギン 英名King penguin 学名*Aptenodytes patagonicus*

ペンギン科。世界にいる18種のペンギンの中では、エンペラーペンギンに次いで2番目に大きく、成長すると体長約90cmになる。南極大陸周辺の島々に生息。海岸近くのゆるやかな斜面に繁殖地を持ち、メスは1回の産卵で1個の卵を産む。巣は作らず、足の上に卵を置き、ダブダブの腹部の皮をすっぽりかぶせて抱卵する。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

ジェンツーペンギン 英名Gentoo penguin 学名*Pygoscelis papua*

ペンギン科。頭頂部にある白い斑紋が特徴。成長すると体長約75cmになる。南極半島や南極周辺の島々に生息。小高い丘に雑草や小枝、小石で浅いクレーター状の巣を作り、メスは1回の産卵で通常2個の卵を産む。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

アデリーペンギン 英名: Adelle penguin 学名: *Pygoscelis adeliae*

ペンギン科。成長すると体長約70cmになる。頭部から背部にかけて黒く、目の周りにある白い輪（アイリング）が特徴。メスはオスに比べ、一回り小さいことが多い。南極大陸とその周辺の島々に生息。自然界での繁殖時期は10～11月で、丸い小石で周辺を囲んだ浅いクレーター状の巣を作り、メスは1回の産卵で通常2個の卵を産む。小魚、オキアミなどを食べる。

添付写真



生後4日目のイワトビペンギンの赤ちゃん



生後10日目のイワトビペンギンの赤ちゃん



生後 10 日目のイワトビペンギンの兄弟



生後 10 日目のイワトビペンギンの兄弟